

巻頭言 新しい出会い

1学期期末試験まであとわずか。早いものでもうすぐ1学期が終わろうとしています。新しいクラスには慣れたでしょうか。

年度当初のクラス替えによって、友人関係も変化したでしょう。知らない先生方との出会いもあったと思います。新しい出会いによって、君を取り巻く社会が変化しました。大げさに言えば、君の世界が広がったと表現してもいいでしょう。このように、1学期はまさに出会いの季節でした。

新たな出会いと言っても、それは人との出会いだけではありません。授業で未知なる知識を得たり、見たことのないものを見たり、行ったことのない場所を訪れたりすることも新たな出会いです。

人は様々な出会いのなかで社会性を身につけていく生き物です。未知なる人柄や事柄と接することで、幅のある社会性が育ちます。つまり「新しい出会い」は成長のきっかけであり、自分を自分で育てるチャンスでもあるのです。

皆さんにとってのこの1学期は、まさにそのようなチャンスだらけの期間だったのです。どんな「新しい出会い」があったのか、振り返ってみてください。そしてその出会いはあなたにどんな影響を与えましたか。考察してみると新しい気づきがあるかもしれません。

さて、期末試験後は夏休みがやってきます。受験に向けての勉強ができる大切な期間ですが、こういう時期にこそ、大学を見学し(オンライン含む)、大学と出会ってみる。美術館に行き(オンライン含む)、芸術と出会ってみる。本を読み、知識や物語と出会ってみる。そして学習に取り組む「新しい自分」にも出会ってみる。これらはすべて、期末試験後の夏休みに作ることができる「新しい出会い」です。自分が求めれば「新しい出会い」はいつでも作れるのです。



多くの「新しい出会い」が人を成長させるならば、夏の体験はきっと2学期の学校生活に前向きな影響を与えてくれるでしょう。2学期に一回り成長した君たちと出会えるのを楽しみにしています。

多くの「新しい出会い」が人を成長させるならば、夏の体験はきっと2学期の学校生活に前向きな影響を与えてくれるでしょう。2学期に一回り成長した君たちと出会えるのを楽しみにしています。

(細谷 大輔/1組担任・学年副主任)

7月 世界の偉人たち 陸奥宗光(むつ むねみつ)



陸奥宗光 (むつむねみつ) (1844年7月7日-1897年8月24日) 明治時代の政治家、外交官。

若い頃には、土佐の坂本龍馬が結成した組織に参加。その後、伊藤内閣の外相となり、対等条約の締結に尽力、イギリスとの条約改正交渉において、日英通商航海条約締結に成功。日清戦争ではイギリス、ロシアの中立化に成功するなど、その高度な外交政策は日本外交の原点ともいわれている。

クイズ 陸奥宗光が参加した組織はどれですか。 ①海援隊 ②愚連隊 ③自衛隊

(答えは裏面)

今月の学び場 食べる力で期末試験を乗り切ろう!



- ① **カレーを食べるとIQが7ポイントアップ!** カレーを食べた直後、脳の血流が増え、集中力・やる気をつかさどる部位が活性化。その結果、「**知能指数 (IQ) が7ポイントもアップする**」そうです。
- ② **魚の「DHA・Ca・Mg」が頭にいい!** 魚の脂に含まれているDHAは、学習能力や記憶力の向上に効果があることが、イギリスの研究でわかりました。
- ③ **頭が良くなる飲み物** ズバリ…**オレンジジュース**。
- ④ **甘いもので脳を活性化** 勉強していて「ペースが上がらない」「集中できない」というのなら、甘いものを食べて脳を活性化すると良いでしょう。**糖분을摂取するのにオススメな食べ物は、フルーツです。**
- ⑤ **「噛む」と知能レベルが上がる!** 「今すぐ頭の回転を速くしたい!」というのなら、ガムを噛むのが一番。アゴから伝わる適度な刺激が脳のマッサージになり、頭の働きがすぐに良くなります。

7月のSDGs

先号に続き食関連です。

買い過ぎ→買い物にいく前に自宅にある食材を確認する習慣をつける。

使い切る→これまで捨てていた部位でも何か調理法がないか、レシピサイト等で調べてみる。

食べきる→料理レシピを活用するなどして、別の料理に作り変える工夫をする。



7月・8月の予定

7月		8月	
6(火)	自宅学習日	9(月)~17(火)	夏季一斉閉校
7(水)~10(土)	期末試験・図書館七夕祭	24(火)~28(土)	サマーセミナー
14(水)15(木)	答案返却日	※カテゴリごとに他にも行事がある場合があります。	
21(水)	終業式	※始業式は9月1日(水)です。(授業はありません)	
26(月)28(水)30(金)	サマーセミナー〔参加任意〕 (勉強合宿中止に伴い追加)		

沖縄への旅①ー琉球王国、その繁栄と衰退ー 地歴科 近藤八朗

「沖縄」と聞いて皆さんは何を連想しますか。青い海、青い空、降り注ぐ太陽、温暖な気候、一年中咲きほこるハイビスカス、ソーキ蕎麦やゴーヤチャンプルーなどの美味しい料理、安室奈美恵さんや新垣結衣さんの故郷……。皆さんが修学旅行で訪れる「沖縄」は、かつて「琉球王国」と呼ばれる独立国でした。今回はその歴史を紐解いてみましょう。

14世紀、琉球は中山・南山・北山の三国にまとまりました。これを三山時代と呼びます。この頃、中国ではモンゴル政権の元(ゲン)が滅んで漢民族王朝の明(ミン)が興っており、明から朝貢(チョウコウ)を促されると、三山とも競って進貢(シンコウ)しました。朝貢とは、貢物を納めて明の皇帝に服従を誓うことで、それによって皇帝から冊封を受けて王位を承認してもらおうと同時に多くの返礼品が与えられ、また、明との貿易も許されたため、大陸の豊かな文物が琉球に流入しました。首里城など文化の多くにその影響が見られます。

15世紀になると、中山の佐敷按司(アジ = 大名)の尚巴志(ショウヒシ)が出て中山王を滅ぼし、父・尚思紹(ショウシヨウ)を中山王に就け、自らは世子(セイシ = 後継者)となって琉球統一を進め、1422年、父

の後を継いで中山王に即位し、北山、続いて1429年には南山を征服して琉球統一を果たしました。これが「第一尚氏」王統です。一昨年無情にも消失した首里城は、この頃建てられたものです。王位継承争いなどでこの王統は7代で滅び、1470年、重臣の金丸(カマル)が推挙されて即位し、尚円と称してここに第二尚氏王統が成立しました。尚円の子の尚真が即位すると、彼の手腕により琉球王国はその基盤を確立し、政治体制だけではなく、文化面においても黄金期を迎えました。王家の墳墓である「玉陵(タマド' ャン)」(班別研修で訪ねてみて下さい)など多くの石造建築物がつけられ、文化事業では「おもろさうし」(全22巻1554首)などの古歌謡も編集されました。「オモロ」とは、古琉球の人びとの豊かな想像(思い)の世界をおおらかに表現した叙事的な歌謡のことです。

14世紀後半から16世紀にかけて琉球王国は「大交易時代」を迎えました。日本、朝鮮半島はもとより、タイやマラッカ王国など東南アジアとの交易圏も拡大していきました。琉球のような小王国が大発展を遂げられた裏には、明の皇帝の後ろ盾があったことと、倭寇による中国の海禁政策で明の商人の渡航が禁じられていたことがありました。

しかし、16世紀後半になると、いわゆる「大航海時代」のうねりの中で琉球王国の繁栄も陰りをみせ始めます。琉球貿易の独占を図る薩摩の島津氏は、豊臣秀吉の朝鮮出兵に際し、1591年、琉球王国に軍役として7000人分の兵糧米10ヶ月分と、名護屋城(朝鮮出兵前線拠点。佐賀県)建築の負担金を要求しました。琉球王国はその半分を調達しましたが、このことは島津氏の琉球侵攻への布石となりました。その後島津氏は関ヶ原の戦いで家康に敗れたため、その地位を回復するためにも琉球への特権を確保する必要に迫られていました……。

1609年2月、島津氏が琉球王国に薦めた幕府への聘礼(ヘイレイ = 贈り物をして礼を述べること)問題が完全に暗礁に乗り上げると、島津氏は武力行使を決断し、3月初旬、鉄砲隊を主軸とした約3000の兵と100余隻の軍船を琉球に差し向け、奄美大島・徳之島・沖永良部島を次々と攻略し、沖縄本島北部に上陸して、陸路・海路から首里・那覇に侵攻し、ついに4月1日首里城を開城させました。尚寧王以下100余の重臣が薩摩に連行され、島津氏は幕府から琉球を賜ったのです。その際、尚寧王も駿府・江戸と連行され、家康、第2代将軍秀忠に謁見しました。(次号に続く)

※参考文献：『高等学校 琉球・沖縄史』(沖縄歴史教育委員会編)

編集後記

次号より、保護者の皆さんが作った随筆や詩、川柳などを募集し、学年通信に掲載することを企画しています。乞うご期待！

「世界の偉人たち」答え①